

# 社会で活躍する卒業生

A graduate of Shimane University

No. 13

銀行員

卒業後も様々な分野で活躍する島大OB・OG。その中から、山陰をフィールドに活躍する注目の人を紹介するシリーズ企画です。今回は山陰合同銀行島大前支店で勤務する水さんに、現在の仕事内容やそこに至るまでの道のり、今後の展望についてうかがいました。



Profile  
水 桃子 さん  
株式会社 山陰合同銀行  
島大前支店 融資・外為担当  
島根県松江市出身。2015年3月に法文学部言語文化学科を卒業。2015年4月に山陰合同銀行へ入行。インターンシップや合同企業説明会への参加を通じて同行の魅力に触れ、入行を決意。3年前から島大前支店で融資業務を中心に担当している。

お客さまと向き合って  
会話の時間を大切に  
徐々に信頼関係を築く

山陰地方で最大規模の地方銀行「山陰合同銀行」。島根大学の目の前にある島大前支店で勤務するのが、水さんです。「銀行というと、なんとなく数学的な知識が必要なのはという不安もありましたが、周りには文系出身者も多く、先輩方も丁寧に教えて下さるので、その不安はすぐに解消されました。入行後2年ほどは窓口での業務、その後、個人向けの投資等、資産運用のプランを提案する営業を経て、現在は個人向けの融資業務や、海外への送金業務を担当しています。

「融資業務では住宅ローンを中心に案内しています。住宅ローンは普段聞き慣れない専門用語が多いので、私自身先輩方に教えていただきながら、分かりやすい説明を心がけています。家は大きな買い物なだけあって、不安な気持ちで相談に訪れる人も多いそうで、水さんが最も大切にしているのはお客さまとの会話です。お客さまによって知りたい内容の深度も違い



融資業務では現在40~50名ほどの顧客を担当しています。

人に対する積極性が  
現在の業務でも活きる  
より信頼される銀行員に

大学時代と変わらず、業務でもしっかりとコミュニケーションを取しながらお客さまの対応をする水さん。「お客さまとの会話の中で、お客さまが求めることや不安に感じている部分を把握した上で、提案に活かしていく。様々な背景を持つお客さまとの関わり方というのは、大学時代に培った積極性や経験が役立っていると実感しています。銀行はいろいろな人と関わることができる職場です。人との関わり数だけ私自身の知識の幅も広がります。これからもっと積極的にいろいろなことを吸収し、お客さまに頼りにされる銀行員になりたいです。」

ますし、家族構成や家計の状況も様々です。内容上、プライベートな部分にも触れるので、それぞれの方が何を求めて相談にいられたのか、まずはしっかりコミュニケーションをとって、徐々に信頼関係を築いていくようにしています。1件の相談期間は半年から1年くらい長期にわたるそうです。「相談内容をもとに提案させていただいた内容で、お客さまに喜んでいただいたり、あなたに頼んで良かったと声をかけていただいた時は本当に嬉しいです。信頼していただけて任せてもらえるというの

は仕事のモチベーションにもなっています」。また、島根大学に近い支店ということもあり、留学生が手続き等に訪れることも多く、そういった場合に水さんに対応を依頼されることも少なくないそうです。「流暢に英語が話せるわけではないですが、大学時代に英語の研究室で学んだ経験を活かしていると思います」。

様々な出会いがあったと言います。「キャリアセンターが当時開講していた就業力育成特別教育プログラムを受講したのですが、その授業では、松江市の企業を訪問して社長さんにインタビューし、その内容を発表する経験もしました」。この授業がきっかけで、広島県で開催された地域中小企業の人材確保・定着支援事業「魅力発信گرانプリ」にも発表者として参加し、入賞も果たしました。

島根大学在学中、水さんは米・ヨーロッパ言語文化分野の研究室に所属していました。「担当教員が外国人の先生で、会話の絶えない明るい研究室でも楽しく過ごせました。留学生も在籍していたので、自然と英語に触れられる環境でした」。日常的に海外との交流が多く、1年生の時にはフロリダで1か月間の語学研修も経験しました。大学で積極的にいろいろな人とコミュニケーションを取ることを心がけていた水さんは、就職活動でも積極的に学外へ出かけ、

県内企業でのインターンシップにも複数参加し、そのインターンシップ先のひとつに山陰合同銀行がありました。実際に行員の方から業務内容等の説明を受ける中で、銀行は多くの人と関わる仕事なので、人と関わるのが好きな人にオススメです。という行員の方の言葉が印象に残ったそうです。「自分の大学生活を振り返ってみると、出身も年齢も異なる同級生や先輩、後輩、先生方、留学生、学外・海外での出会い等、様々な背景を持つ人たちと関わる経験が、自分自身の視野を広げ、成長することに繋がりました。人との関わりが多い銀行は自分に合っているかもしれないと思います、山陰合同銀行で働く道を選びました」。

## 読者の声

広報しまだい vol.49に寄せられた声をお届けします。

島大卒業生の他県での活躍も知りたいです。

(島根県松江市・50代女性)

地域社会の日常生活の中でより身近に感じられる「しまだい」の姿をお知らせください。

(島根県出雲市・50代女性)

新しい研究棟を活用した新しい研究をもっと紹介してもらえたらと思います。

(広島県世羅郡・50代男性)

島大生の活躍のコーナーで、将来に繋がる島根を考える若い力を嬉しく思いました。

(島根県浜田市・60代女性)